

平成30年度  
社会福祉法人 高知小鳩会事業報告書

1 役員構成

1) 理事

理事長 南 守

理事 門谷 良久 南 幸子 岩城 雅人 井上 朋子 楠瀬敬兒郎

2) 監事 山下 洋子 神崎 正志

3) 評議委員 大倉 三洋 三谷 隆彦 矢野 泰彦 友永 義信 山本 純史  
福留 章夫 前田 正稔 太田 敏敬

2 平成30年度事業実績等

1) 高知県委託事業「障害児等療育支援事業」 \* 延べ人数

| 月  | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計  |
|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 外来 | 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 5 | 4  | 3  | 3  | 2 | 2 | 3 | 34 |
| 巡回 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 0  | 0 | 0 | 0 | 0  |
| 計  | 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 5 | 4  | 3  | 3  | 2 | 2 | 3 | 34 |

平成30年度 委託料51,000円

2) その他支援事業 \* 延べ人数

| 月                             | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2 | 3  | 計   |
|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|-----|
| 短期入所事業(指定事業)                  | 53 | 56 | 53 | 23 | 18 | 20 | 26 | 12 | 11 | 11 | 8 | 16 | 307 |
| 在宅支援事業(法人単独)<br>* 宿泊, 日中ショート等 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1 | 0  | 1   |

3 平成30年度決算 ※ 収支決算書参照

# 平成30年度あじさい園事業報告書

## 1 事業概要

(総括)

### 1) 支援技術の向上

「ユマニチュード」

あじさい園開所時より利用者にとって心地よい生活とは何かを模索し、一からつくり上げてきた支援を統合、ブラッシュアップする目的で、平成28年の3月から取り入れることとした「ユマニチュード」を学ぶために、5月に施設長及び研修担当者3名がジネスト・マレスコッティ研究所日本支部が主催する研修会に初めて参加した。

それまでは、幹部職員がテキストとした本をもとに、その基礎を学んでもらう形で研修を行ってきたが、実際に現場で実践を重ねてきたインストラクターが行う講義は、根拠にもとづくユマニチュードの哲学、技法であることを再認識させられるものであり、認知症や知的障害者のみならずケアするものが「人を大切にし、優しさを届ける手法」として、法人として取り入れていく意義を確信するに至った。

これを機に、平成30年度は、職員3名ずつ6回に分けて、計18名が二日間の日程で日本支部のある東京医療センター等県外で行われている研修に参加させ、本物に触れることによってユマニチュードへの理解と取り組みへの意欲が高まった。来年度も、可能な限り職員のほぼ全員が受講できるよう調整する予定。

「食事支援」

平成29年度に引き続き、1月12日にNPO法人口から食べる幸せを守る会理事長（摂食嚥下障害看護認定看護師）小山珠美氏に來園して頂き、前回指導して頂いた課題のある利用者3名の食事状況を評価、指導して頂く機会を得た。

### 2) 施設整備

「落雷被害への対応」

8月31日、第二あじさい園南側の電柱の変圧器に落雷があり、その影響でPC、インターネット関連、FAX等複合機、エアコン、火災受信機、OMソーラー、外回りセンサー、電話機端末等多大な被害があり全ての復旧が終了するまで約3ヵ月の期間を要した。費用については全額保険で対応することができた。

## 2 法人サービス理念

### 1) 「できるだけ普通に、可能な限り特別に」をサービスの基本とします。

施設を地域の一単位（家庭）と考え、一般社会と比較されるような特別な生活環境ではない、いわゆる「普通」感覚をもちながら、個別のニーズには可能な限り「特別」で手厚いサービス提供をすることを目指した。

### 2) 利用者にとって心地よい援助技術の習得に努め、心は常にアマチュアであろうとします。

職員は介護等の自主研修等をおして介助、支援技術の習得に努めた。又、専門性を高めると共に、アマチュアであった時のような本来の「福祉の精神」が失われることのないよう職員教育を行った。

## 3 基本的運営理念

### 1) 家庭の代替機能、補完機能を第一義としない。

保護者と施設がそれぞれの役割を果たせるような関係づくりをし、利用者が家庭から遊離しないような取り組みを継続して行った。

2) 幅広い福祉システム作りの核としての機能と目的を持つ。

施設の所有するサービスの有効活用を目指し、短期入所、相談支援事業と連携し在宅知的障害者の支援にも努めた。

3) 託し合える関係を保持する保護者たちが、施設と両輪となり「親の視点」で運営する。

利用者が何を望んでいるのかを把握するために、「親の視点」をとおして保護者と施設が連携を保ちながらの利用者サービスに努めた。

4 運営方針

1) ノーマライゼーションの原則

障害を疾病や発達障害としてではなく、個々の特徴として位置づけ、日常生活の上で支障となる面は職員が支援を行い、個々の障害の特徴や支援度で分けることなく可能な限り全体の中で生活ができるように努めた。

2) 個別支援の原則

必要外の集団支援は行わず、個々の特徴やニーズに応じた個別計画を作成し支援を行った。

3) 家族・地域・施設連帯の原則

可能な限り週帰宅を実施し、家族から遊離することがないように努め、月の第3日曜（8月は除く）に保護者会を開催し家族と施設の連携を深めた。施設も地域の一家庭という考え方のもと、自然な形で地域住民との交流ができるよう配慮した。

4) 利用者職員は、指導「する・される」の関係からより良い生活の受益と提供の原則

どうすればより良い生活が提供できるかが法人及び職員全員の目標であり、職員会議等で主たるテーマとしその実践に努めた。

5 利用実績

1) 生活介護（定員52名；{契約者数56名：男33名、女23名}）

平均障害支援区分5.7 開所時間：入所AM8:00～PM16:00 通所AM9:00～PM16:00

| 月      | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2    | 3    | 合計     |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 利用実績   | 959  | 998  | 951  | 986  | 967  | 943  | 971  | 935  | 998  | 998  | 860  | 977  | 11,543 |
| 開所日数   | 30   | 31   | 30   | 31   | 31   | 30   | 31   | 30   | 31   | 31   | 28   | 31   | 365    |
| 平均利用者数 | 32.0 | 32.2 | 31.7 | 31.9 | 31.2 | 31.5 | 31.4 | 31.2 | 32.2 | 32.2 | 30.8 | 31.6 | 31.7   |

2) 施設入所支援（定員52名；{契約者数47名：男27名、女20名}）

| 月      | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2    | 3    | 合計     |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 利用実績   | 1439 | 1477 | 1450 | 1463 | 1449 | 1407 | 1455 | 1398 | 1392 | 1385 | 1306 | 1454 | 17,075 |
| 開所日数   | 30   | 31   | 30   | 31   | 31   | 30   | 31   | 30   | 31   | 31   | 28   | 31   | 365    |
| 平均利用者数 | 48.0 | 47.7 | 48.4 | 47.2 | 46.8 | 46.9 | 47.0 | 46.6 | 45.0 | 44.7 | 45.1 | 47.0 | 46.7   |

## 6 平成30年度重点課題

### 1) 職員（人材）の安定的確保と定着

- ・高知市内の福祉専門学校とハローワークへの求人を継続して行うと共に、人材紹介サイト（日知協ホープ、ジョブメドレー、ツクイスタッフ、医療ワーカー、ふくしのお仕事等）への登録を通して人材の確保に努めた。
- ・現場実習の受け入れ  
高知福祉専門学校（男4名、女2名）高知学園短期大学（女2名）合計8名
- ・福祉、介護就職フェア等への参加  
8/18、2/9 福祉人材センター主催（於：カルポート）
- ・リクルートサイトを含めたホームページリニューアルに向けて、業者との検討を開始した。

### 2) 職員の資質の向上

- ・ユマニチュード、食事支援の向上に向けての取り組みを行った。（事業概要参照）
- ・国家資格については、3月の介護福祉士国家試験に男性3名が合格し、直接処遇職員の内福祉専門職員の配置率が35%以上となった。

### 3) 重度高齢化対策としての支援技術の向上と環境整備

- ・年度末時点で、男性7名、女性13名が喀痰吸引（第3号研修）の資格取得者となり、医療的ケアが必要となる利用者への体制づくりをすすめた。

### 4) 災害対策の強化

- ・震災時の支援体制の確立と支援技能の向上を目指した防災訓練を実施すると共に福祉協会主催の防災研修にも積極的に参加した。

## 7 運営資金

収支計算書等参照

## 8 苦情解決

本年度苦情受付件数 0件

## 9 平成30年度職員研修

年間計画

|    |   |     |                                 |
|----|---|-----|---------------------------------|
| 4月 | ・防災対策の基礎知識                                | 10月 | ・「ユマニチュードの技法②」<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 5月 | ・人を大切にすること①<br>「虐待研修」                     | 11月 |                                 |
| 6月 | ・人を大切にすること②<br>「ユマニチュードの哲学～私たちの仕事、その専門性～」 | 12月 | ・「ユマニチュードの技法③」<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 7月 | ・人を大切にすること③<br>「ユマニチュードに取り組んで」            | 1月  | ・「ユマニチュードの技法④」<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 8月 |   | 2月  | ・「ユマニチュードの技法⑤」<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 9月 | ・「ユマニチュードの技法①」<br>～優しさを伝えるケア技術～           | 3月  | ・「ユマニチュードの技法⑥」<br>～優しさを伝えるケア技術～ |

その他

- ・毎月各職員1回程度、心肺蘇生法と誤嚥時の対応方法の習得と防災時の対応訓練を行なった。
- ・ユマニチュード入門研修（総括参照）に参加した幹部職員が、ユマニチュードの哲学、技法を基本とし、法人職員としての支援技術の向上、基盤となるよう園内研修を行った。

10 職員構成（職種・氏名）

注）常勤職員（育休1名含む） △非常勤

（平成31年3月31日現在）

| 職名 | 管理者 | サビ管兼施設長 | 法人事務長 | 総務部長 | 管理栄養士 | 相談支援員 | 支援職員      |           |           |           |           | 顧問<br>門医 | 合計 | 調理部門 |                |
|----|-----|---------|-------|------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----|------|----------------|
|    |     |         |       |      |       |       | 支援課<br>課長 | 支援課<br>係長 | 生活<br>支援員 | 看護課<br>係長 | 看護師<br>係長 |          |    |      | 支援<br>職員<br>合計 |
| 男  | 1   |         | 1     | 1    |       | 2     | 1         | 2         | 13        |           |           | 16       | △1 | 21   | 業務委託           |
| 女  |     | 1       |       | 1    | 1     |       | 1         | 2         | 11        | 1         |           | 15       |    | 18   |                |
| 計  | 1   | 1       | 1     | 1    | 1     | 2     | 2         | 4         | 24        | 1         |           | 31       | △1 | 39   |                |
|    |     |         |       |      |       |       |           |           |           |           |           |          |    | △1   |                |

（平成31年3月31日現在）

| 職種        | 氏名  |
|-----------|---|
| 管理者       | 南 守   |
| サービス管理責任者 | 井上 朋子（施設長）  |
| 顧問医       | 橋詰 宏（精神科）   |
| 事務員       | 門谷 良久（法人事務長） 南 幸子（部長）<br>楠瀬 敬兒郎（課長）   |
| 管理栄養士     | 森岡 美樹（係長）   |
| 相談支援員     | 中森 勇人（課長） 岡村 和哉（係長）   |
| 支援職員      | 看護師<br>上田 友紀（係長）  |
|           | 男性棟<br>谷本直哉（課長） 明神裕志（係長） 西村卓也（係長）<br>宮脇淳也 岡林拓也 永野孝洋 尾崎健人 松山由宇馬<br>坂本昌彦 川村知也 渡邊賢人 柿内翼 近森大地 徳弘圭祐<br>石川誠司 岡本琢郎<br>（計16名） |
| 女性棟       | 中森裕子（課長） 森澤清恵（係長） 渡邊寛子（係長）<br>矢野由美子 池添詩織 竹村侑子 西村佐和子 中畠陽香里<br>堅田優子 岩本千亜紀 吉村未希 浜田紗妃 和田広美 西田裕美<br>楠瀬綾 （計15名）             |

1.1 生活支援

1) 給食（外部委託：（有）モリグリーンフーズ）

食事内容

|            |                      |
|------------|----------------------|
| 平均カロリー（/日） | 1,796kcal            |
| 平均品数（/日）   | 朝/6.4品 昼/4.5品 夕/4.6品 |
| 食事時間       | 日課参照                 |

給食費用

|       |             |           |
|-------|-------------|-----------|
| 実延人数  | 入所 16,783人  | 通所 1,729人 |
| 材料費   | 14,581,767円 |           |
| 業務委託費 | 19,180,800円 |           |

\*利用者負担は材料費650円、業務委託費930円。超過分はあじさい園が負担しより質の高い食事を提供した。

衛生管理

| 検査・点検 | 結果         | 費用       |
|-------|------------|----------|
| 検便    | 異常なし       | 11,934円  |
| 貯水槽清掃 | 良好         | 183,600円 |
| 厨房内清掃 | 良好*害虫駆除 大進 | 49,680円  |
| 浄化槽清掃 | 良好         | 446,050円 |

器具什器費

|         |          |
|---------|----------|
| 食器、調理器具 | 298,304円 |
|---------|----------|

2) 健康管理

顧問医、医療機関との連携を図り、利用者の健康状況の把握と疾病の早期発見に努めた。

又、必要に応じて感染対策委員会を開催し、予防対策の検討を行なった。

|             |       |                  |
|-------------|-------|------------------|
| 歯科健診        | 6/11  | 広田歯科医院（園内）       |
| 歯科受診        | 毎週火   | 広田歯科医院           |
| 口腔ケア        | 隔月    | 広田歯科医院（園内）       |
| 内科健診        | 7/19  | 横浜ニュータウン内科（園内）   |
| 一斉健康診断      | 10/11 | きんろう病院（園内）       |
| 検診フォロー      | 随時    | 横浜ニュータウン内科       |
| 藤戸受診        | 定期    | 藤戸病院（園管理者対象）     |
| 訪問診療        | 月2回   | あおぞら診療所（契約利用者対象） |
| インフルエンザ予防接種 | 11/8  | 横浜ニュータウン内科（園内）   |

3) 環境整備

園庭、裏山の整備、清掃、整理整頓を心がけ環境美化に努めた。

4) 防災計画

|             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| *総合消防訓練     | : 5/16・12/3（高知市南消防署）                  |
| 担当          | 園長：総指揮 / 事務員：連絡 / 生活支援員：救助 / その他職員：報告 |
| *南海大地震対策訓練  | : 5/16、8/13、11/5、2/4（全職員）             |
| *南海大地震対策委員会 | : 随時、幹部会にて報告                          |

## 1 2 日中活動支援

### \* 「いきがい班」

利用者の一人一人が楽しさを感じられる活動を提供するために、一つのグループに固定せず多様な活動へ参加できるように配慮した。わくわくグループ、スポーツ、創作、ストレッチの4つのグループに分かれ活動を行った。他グループで利用者が興味ある活動がある際はメンバーに拘らず柔軟に対応した。

#### 1) スポーツ

当日の活動リーダーが内容を決めて行う。職員それぞれがバラエティーに富んだゲーム等を企画、準備して、体を動かすものや楽しめるものを取り入れた。また、運動だけではなく、ドライブやピクニック等の余暇的要素を取り入れ、非日常を感じられるよう気分転換を図る活動も行った。

#### 2) 創作

季節毎の壁画作り等を行ない、掲示板に貼りだしている。プラパン作りや塗り絵等も行ない、出来上がった作品は利用者も喜んで持ち帰っていた。又、行事の制作物の作成を手伝い、行事に対する期待感が持てるようにすると共に、買い物や散歩等も行ない、創作活動以外の楽しみが味わえるよう配慮した。今年度はスピリットアートにも出展し、入選は出来なかったものの、皆で一つの作品を作り上げることが出来た。

#### 3) ストレッチ

高齢の方や積極的に運動することが難しい利用者を中心に、一人ひとりとの関わりを大切に、ゆったりとした時間の中で季節ごとに楽しめる活動を行なった。

主にアロマを焚きハンドマッサージや足湯、ストレッチマットを敷き無理のない程度で身体を伸ばす等、心や身体のリフレッシュや、ペットボトルを使ってのボウリング、ちぎり絵等園内活動の充実を図った。

屋外活動は、種間寺やわんぱく公園など近距離を無理のない散歩を行い、時折コンビニへ買い物に出掛ける等生活にメリハリをつけた。

#### 4) わくわくクラブ

午前中は2回に分かれ、散歩を行った。長距離メンバーと短距離メンバーに分け、毎日30分ずつコースを変え気分転換を図った。午後からは、創作で季節の物を作ったり、環境整備を行った。又、活動で作成したプレスレットや、ストラップ、布ボールを良心市で販売し、売り上げ金でジュースやお菓子を購入し、やりがいに繋げた。

買い物外出、ドライブの他に、1日外出では午前中ダイソーで買物、午後はかつらしまボウリング場へ行きとても楽しい時間を過ごすことができた。

#### 5) その他の活動

外出散歩、あじさいマーケット、カフェ、バスドライブ、カラオケ大会、園芸を合同で行った。また、職員の特技を生かした企画も取り入れ楽しめる活動を提供している。

### \* 「生産活動班」

生産活動を希望する入所利用者については、第二あじさい園の生活介護を利用してミニトマト、ブルーベリー栽培、木工等の班に所属して日中活動を行った。

(第二あじさい園事業報告参照)

### 1 3 行事・その他の活動について

#### 1) 季節行事

行事の内容によっては積極的に保護者や地域住民（納涼祭、クリスマス会等）の方々の参加を促し、利用者と共に季節折々の行事を楽しんだ。

| 行 事         | 日         | 備 考                  |
|-------------|-----------|----------------------|
| 5月行事 端午の節句  | 5/2 (水)   | 第二合同                 |
| 7月行事 七夕     | 7/6 (金)   | 第二合同                 |
| 納涼祭         | 8/17 (金)  | 第二・こばと作業所・他関係者 約200名 |
| 9月行事 月見     | 9/7 (金)   | 第二合同                 |
| スポーツフェスティバル | 10/19 (金) | 第二・こばと作業所 約120名      |
| クリスマス会      | 12/25 (火) | 第二・こばと作業所・他関係者 約110名 |
| 冬期帰宅        | 12/27 (木) | ～H30/1/4 (木)         |
| 新年会         | 1/11 (金)  | 第二合同                 |
| 節分&餅つき      | 2/6 (水)   | 第二合同                 |
| 3月行事 ひな祭り   | 3/6 (木)   | 第二合同                 |

#### 2) 誕生会

利用者個々の誕生日を予定表で知らせると共に、食事時間や夜の余暇時間にケーキやプレゼント等を準備して「特別な日」として個々に祝う誕生会を行った。

#### 3) 外出

個々の利用者が楽しめる外出先を設定し、一日外出を実施した。

| 日         | 外 出 先                   |
|-----------|-------------------------|
| 4/18 (金)  | 内原野公園 (一日外出)            |
| 5/22 (火)  | パワーセンター、ボウルかつらしま (一日外出) |
| 9/20 (木)  | 帯屋町散策 (一日外出)            |
| 10/12 (金) | 桂浜水族館 (一日外出)            |
| 3/27 (水)  | のいち動物公園 (一日外出)          |

#### 4) 余暇活動

毎月シーズンに沿った余暇活動を企画し、内容が偏らないよう職員の担当に配慮した。バスドライブやピクニック等、外出企画を多く取り入れ、クッキングも隔月開催（夏場、感染対策期間を除く）し充実した余暇活動が行えた。

#### 5) 園芸活動

グラウンド西側にひまわりを植え、夏の終わりには翌年に向け種を採り保管した。11月にはグラウンド西側と出窓下、食道南側の花壇にパンジーとシロタイギク、葉ボタンを植え綺麗な花を楽しんだ。

#### 6) スポーツ活動

福祉協会のスポーツ委員会が主催する活動を中心に、担当者が中部地区施設交流会・ソフトボール・ソフトバレー交流大会・軽スポーツ交流大会・ゆうあい四国大会等に関わることで他施設との交流を深め、利用者が楽しめる大会を選択し参加した。



① 第 20 回障害者スポーツ大会

5 月 27 日（陸上 1 名、ボウリング 9 名、卓球 1 名）

9 月 30 日（フライングディスク 12 名）

② 中部地区施設交流会

11 月 12 日（14 名参加）

\*参加者は第二、こばと利用者含む

1 4 広報

1) あじさい新聞

あじさい園、第二あじさい園、こばと作業所の行事や活動の様子など楽しい雰囲気が伝わるよう写真を取り入れて紹介し、利用者、保護者、職員が日々の出来事や情報を共有できるように、毎月のあじさい会で配布した。（約 70 部）

2) ホームページ

当法人についての概要、施設紹介、活動内容等を掲載し、職員の個性を活かしたブログで、利用者の日々の様子や園内の情報などを公開した。また、毎日の食事メニューを写真付きで掲載し保護者からも好評を得た。

1 5 その他

平成 30 年度 あじさい園障害児者相談支援事業所 事業報告書

1 事業の運営

主に、高知市在住の知的障害(児)者が居宅及び事業所等において必要且つ適切なサービスが受けられるよう、可能な限り親身で手厚い支援をすることを目標とした。

本年度、ひと月当たりの計画作成は約 18 件(表 1)で、高知市の委託事業(表 2)と合わせて昨年度同様の実績を上げているものの、人件費とのバランスは依然としてとれていない。

2 職員構成

職員数 3名

職員構成 管理者 1名(兼任) / 相談支援員 2名

3 事業内容及び事業実績

1) 障害福祉サービス等の利用計画の作成

・計画相談支援(者)

「サービス利用支援」及び「継続サービス利用支援」

・障害児相談支援(児)

「障害児支援利用援助」及び「継続障害児支援利用援助」

表 1 \* ( ) は継続支援

| 月<br>児者 | 4        | 5         | 6         | 7         | 8         | 9         | 10       | 11        | 12        | 1         | 2         | 3         | 合計          |
|---------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 障害児     | 4<br>(0) | 4<br>(0)  | 6<br>(0)  | 4<br>(2)  | 7<br>(1)  | 8<br>(0)  | 6<br>(0) | 6<br>(1)  | 6<br>(0)  | 9<br>(1)  | 9<br>(1)  | 9<br>(1)  | 78<br>(7)   |
| 障害者     | 5<br>(1) | 13<br>(0) | 17<br>(0) | 12<br>(0) | 5<br>(0)  | 12<br>(0) | 3<br>(0) | 10<br>(1) | 18<br>(2) | 13<br>(0) | 15<br>(0) | 16<br>(1) | 139<br>(5)  |
| 計       | 9<br>(1) | 17<br>(0) | 23<br>(0) | 16<br>(2) | 12<br>(1) | 20<br>(0) | 9<br>(0) | 16<br>(2) | 24<br>(2) | 22<br>(1) | 24<br>(1) | 25<br>(2) | 217<br>(12) |
|         |          |           |           |           |           |           |          |           |           |           |           | 総実績       | 229 件       |

2) 障害福祉サービスの支給決定に係る調査業務(高知市委託事業)

表 2

| 月<br>児者 | 4 | 5 | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計    |
|---------|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 障害児     | 3 | 3 | 6  | 1  | 6  | 8  | 6  | 6  | 7  | 10 | 5  | 4  | 65    |
| 障害者     | 6 | 5 | 15 | 12 | 5  | 11 | 3  | 7  | 17 | 13 | 12 | 10 | 116   |
| 計       | 9 | 8 | 21 | 13 | 11 | 19 | 9  | 13 | 24 | 23 | 17 | 14 | 181 件 |

4 運営資金

平成 30 年度収支決算書参照

## 平成30年度 生活介護事業所第二あじさい園事業報告

### 1 事業概要

生活介護事業を実施し、法人サービス理念、基本的運営理念、運営方針を基盤とした事業計画及び、利用者個々の特性やニーズに応じた個別支援計画を作成し、計画的且つ一貫した支援ができるように努めた。又、新商品の開発や販路拡大にも取り組んだ。

営業日は原則月曜日から金曜日。営業時間は9:30～16:00(送迎時間を除く)として運営した。

### 2 法人サービス理念

- 1) 「できるだけ普通に、可能な限り特別に」をサービスの基本とします。

施設を地域の一単位と考え、一般社会と比較されるような特別な生活環境ではない、いわゆる「普通」感覚をもちながら、個別のニーズには可能な限り「特別」で手厚いサービス提供をすることを目指した。

- 2) 利用者に心地よい介助技術の習得に努め、心は常にアマチュアであろうとします。

職員は介護等の自主研修等をとおして介助、支援技術の習得に努めた。又、専門性を高めることによって、アマチュアであった時のような本来の福祉の精神が失われることのないよう職員教育を行った。

### 3 基本的運営理念

- 1) 家庭の代替機能、補完機能を第一義としない。

保護者と施設がそれぞれの役割を果たせるような関係づくりをし、利用者が家庭から遊離しないような取り組みを継続して行なった。

- 2) 幅広い福祉システム作りの核としての機能と目的を持つ。

法人の実施するサービスの有効活用を目指し、短期入所、相談支援事業と連携し、施設利用者支援に努めた。

- 3) 話し合える関係を保持する保護者たちが、施設と両輪となり「親の視点」で運営する。

利用者が何を望んでいるのかを把握するために、「親の視点」をとおして保護者と施設が連携を保ちながらの利用者サービスに努めた。

### 4 運営方針

- 1) ノーマライゼーションの原則

障害を疾病や発達障害としてではなく、個々の特徴として位置づけ、日常生活のうえで必要となる面は職員が支援を行なった。また、可能な限り個々の障害の質や程度で区分する事も行なわず全体の中で生活ができるように努めた。

- 2) 個別支援の原則

必要以外の集団サービスは行なわず、個々の特徴やニーズに応じた個別計画を作成し支援にあたった。

- 3) 家族・地域・施設連帯の原則

第3日曜日（8月は除く）に保護者会をもち保護者と施設の連携を深めた。また、夕涼み会・クリスマス会・生産物の販売などを通じての地域交流を図った。

4) 利用者と職員は、指導「する・される」の関係から、作業環境を含んだより良い生活の受益と提供の原則

利用者はより良い環境を受益する権利があり、職員はより良い環境を提供する義務を持つという認識に立って活動をする事ができた。

5 平成30年度重点課題

1) 豊かな生活の創造

- ・重度高齢化の進む利用者さんに対する対応力の向上に努めた。
- ・健康面への配慮と余暇的活動内容の提供に努めた。

2) 職員（人材）の安定的確保

- ・ホームページ等 SNS を活用し、法人の情報発信を行った。

3) 職員の資質向上

- ・ユマニチュードの技法を支援技術の基本とするよう、集中して勉強会を実施するとともに、3名の職員をユマニチュード基礎研修に派遣した。
- ・摂食支援技能を高める事を目的に、外部講師による実地指導を受けた。
- ・幹部職員を対象として、障害福祉制度に関する勉強会を開始した。

4) 災害対策の強化

- ・震災時の支援体制の確立と支援技能の向上を目指した防災訓練を実施すると共に、福祉協会主催の防災研修会にも積極的に参加した。

5) 法人内事業所の連携強化

- ・販売活動を通して、法人内事業所の連携強化を図った。
- ・日中活動のあり方に関して検討をおこない、活動の共催に関して方向性を確認した。

6 平成30年度職員研修

|    |                                    |     |                              |
|----|------------------------------------|-----|------------------------------|
| 4月 | 防災対策の基礎知識                          | 10月 | ユマニチュードの技法②<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 5月 | 人を大切にすること・虐待研修                     | 11月 |                              |
| 6月 | 人を大切にすること・ユマニチュードの哲学～私たちの仕事、その専門性～ | 12月 | ユマニチュードの技法③<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 7月 | 人を大切にすること・ユマニチュードに取り組んで            | 1月  | ユマニチュードの技法④<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 8月 |                                    | 2月  | ユマニチュードの技法⑤<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 9月 | ユマニチュードの技法①<br>～優しさを伝えるケア技術～       | 3月  | ユマニチュードの技法⑥<br>～優しさを伝えるケア技術～ |

その他

・毎月各職員1回程度、心肺蘇生法と誤嚥時の対応方法の習得と防災時の対応訓練を行った。

・5月・8月・10月に幹部職員がユマニチュード入門研修に2日間参加し、ユマニチュードの哲学、技法について学び、法人職員としての支援技術の向上、基盤となるよう、園内研修を行った。

※外部研修は平成29年度外部研修参会一覧参照

## 7 具体的運営

### 1) 生活支援

利用者個々の生活様式に応じた生活援助を目的とし、どうすれば最も快適な生活ができるかを常に模索し、利用者の自己実現を図れるよう支援した。

#### (1) 給食

| 食事内容   |        | 給食費用  |            |              |
|--------|--------|-------|------------|--------------|
| 平均カロリー | 688Cal | 実延人数  | 4,409人     | (342円/1食あたり) |
| 平均食数   | 4.46品  | 食材費   | 1,605,928円 |              |
| 食事時間   | 日課参照   | 業務委託費 | 2,073,600円 |              |

#### 衛生管理費

| 検査・点検 | 結果   | 費用       |
|-------|------|----------|
| 検便    | 異常なし | 10,258円  |
| 浄化槽掃除 | 異常なし | 127,225円 |

#### 器具什器費

|    |        |
|----|--------|
| 食器 | 1,980円 |
|----|--------|

### 2) 健康管理

利用者の健康状況の把握と疾病の早期発見に努め、感染予防については過去の教訓を生かしながら対策に取り組んだ。又、嘱託医、医療機関との連携を常に保った。

|             |       |                |
|-------------|-------|----------------|
| 歯科検診        | 6/11  | 広田歯科(園内)       |
| 歯科受診        | 毎週火   | 広田歯科           |
| 口腔ケア        | 隔月    | 広田歯科(園内)       |
| 内科検診        | 7/19  | 横浜ニュータウン内科(園内) |
| 一斉健康診断      | 10/11 | きんろう病院(園内)     |
| 検診フォロー      | 随時    | 横浜ニュータウン内科     |
| 藤戸病院受診      | 定期    | 藤戸病院           |
| インフルエンザ予防接種 | 11/8  | 横浜ニュータウン内科(園内) |

### 3) 環境整備

施設内の美化と利用者身辺の整理整頓に努めた。

4) 防災計画

|  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| *総合消防訓練：5/16・12/3（高知市南消防局                    |                                     |
| 担当   | 園長：総指揮 / 事務員：連絡 / 支援員：救助 / その他職員：報告 |
| *南海地震対策訓練：5/16・8/13・11/5・2/4 通報訓練・一時避難場所設置訓練 |                                     |
| *南海地震対策委員会：毎月幹部会にて報告                         |                                     |

- ・総合消防訓練では火災を想定した避難訓練と消火器、散水栓の使用手順を学んだ。
- ・園内で行なう訓練では地震を想定し、炊き出し、避難誘導、避難場所の確認、使用物品の使用方法を学んだ。同じ訓練を繰り返す行うことで意識、技術の向上につなげた。
- ・外部研修として高知県知的障害者福祉協会の防災委員会主催の研修や高知市防災政策課の公演に参加。他施設、他業種との意見交換を通し防災知識を深めた。

8 日課

| 時 間   | 活 動 内 容                  |
|-------|--------------------------|
| 8：30  | 送迎車出発                    |
| 8：30  | 始 業                      |
| 9：45  | 作業開始                     |
| 10：50 | 休 憩                      |
| 11：45 | 昼食開始                     |
| 13：00 | 作業再開                     |
| 14：15 | 休 憩                      |
| 14：30 | 作業再開                     |
| 15：15 | 作業終了・掃除・フライングディスク練習（希望者） |
| 16：00 | 送迎車出発                    |
| 17：30 | 終業                       |

9 職員構成

（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| 職名 | 管理者 | 施設長<br>(サービス管理責任者) | 事務員<br>(兼務) | 管理栄養士<br>(兼務) | 直接処遇職員 |      |      |             |       | 医師 | 合計    | 調 理 部 門 |
|----|-----|--------------------|-------------|---------------|--------|------|------|-------------|-------|----|-------|---------|
|    |     |                    |             |               | 支援課長   | 支援係長 | 支援員  | 看護師<br>(兼務) | 支援員合計 |    |       |         |
| 人数 |     |                    |             |               |        |      |      |             |       |    |       |         |
| 男  | 1   | 1                  |             |               | 1      | 1    | 2(1) |             | 4(1)  |    | 6(1)  | 業務委託    |
| 女  |     |                    | 1           | 1             |        |      | 2    | 1           | 3     |    | 5     |         |
| 計  | 1   | 1                  | 1           | 1             | 1      | 1    | 4(1) | 1           | 7(1)  |    | 11(1) |         |

注（ ）は臨時職員再掲

②職員名及び担当

| 職 種            |       | 氏 名   |
|----------------|-------|---|
| 管 理 者          |       | 南 守   |
| サービス管理責任者（施設長） |       | 岩城 雅人   |
| 医 師            |       |   |
| 事 務 員          |       | 井田 陽子（兼務）   |
| 管 理 栄 養 士      |       | 森岡 美樹（兼務）   |
| 支 援 員          | 看 護 師 | 上田 友紀（兼務）   |
|                | 男性    | （課長）矢野 雅章 （係長）時田 祐司<br>猪原 佑介<br>楠瀬 隆弘（週 4 日、1 日 5 時間） |
|                | 女性    | 仁井田 千恵 井上 由利  |

10 運営資金

運営資金は、給付費でまかなった。

（収支計算書等を参照）

11 施設利用状況の推移（定員 20 名：基準開所日数 269 日、利用人数 5,380 名）

| 項 目  | 延数    | %  | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
|------|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|
| 契約者数 | 229   | 95 | 20  | 19  | 19  | 19  | 19  | 19  | 19   | 19   | 19   | 19  | 19  | 18  |
| 利用者数 | 4,338 | 81 | 372 | 393 | 388 | 373 | 411 | 324 | 399  | 371  | 319  | 315 | 325 | 348 |
| 開所日数 | 244   | 91 | 20  | 22  | 21  | 21  | 23  | 18  | 22   | 21   | 18   | 19  | 19  | 20  |

※小数点第 1 位四捨五入

年齢：男性-50.0 歳（11 名） 女性-41.0 歳（7 名）

総計平均年齢：46.2 歳（18 名）（3 月 31 日現在）※小数点第 2 位四捨五入

平均支援区分：4.9 基準人員配置人数：3.5 人 ※2 名の利用契約解除があった。

12 会議

職員会・ケース会・個別支援会議・サービス担当者会議・作業内容検討会を適時実施した。

13 活動・行事について

社会自立に目標をおく作業とともに、個々人に適した自立や生き甲斐に主眼を置いた活動も提供した。行事、余暇活動については、スポーツ大会参加や直販への参加活動なども取入れた。

I 作業別

1) トマト作業

担当：時田

男性利用者 6 名、女性利用者 5 名（職員 4～5 名）が中心となってトマト作業を展開した。

[作業経過]

○トマトハウス（1056苗）11列植え 1列80～96苗植え（6穴植え）

定植：平成30年9月3日（ももたろうファイト、ドルチェ）ドルチェと桃太郎のうち3列は海水栽培

液肥：最初は、0.6以下 成長が進んでからはEC1.2～1.3を目安で設定。

消毒回数（平成30年4月～平成31年3月31日現在）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 3回 | 3回  | 1回  | 1回  | 2回 | 2回 | 2回 |

使用農薬

- ・殺菌剤：カリグリーン（2）ポロポーズ（1）セイビアフロアブル（2）ランマン（3）カスミンボルドー（1）
- ・殺虫殺菌剤：サンクリスタル乳剤（5）

重油回数：5回 夜温設定（11℃）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回  | 0回  | 1回  | 1回 | 2回 | 1回 |

○どんこハウス（1728苗）18列植え（6穴植え）

定植：平成30年9月10日（ネネ、フラガール）18列植え（6穴植え）

液肥：最初は、0.6以下 成長が進んでからはEC1.2～1.3を目安で設定。

消毒回数（平成30年4月～平成31年3月31日現在）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 2回 | 3回  | 1回  | 1回  | 2回 | 0回 | 3回 |

使用農薬

- ・殺菌剤：カリグリーン（5）ポロポーズ（1）セイビアフロアブル（1）ゲッター水和剤（1）ランマン（1）
- ・殺虫殺菌剤：サンクリスタル乳剤（2）

重油回数：5回、夜温設定（11℃）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回  | 1回  | 1回  | 2回 | 0回 | 1回 |

○トマトハウス総収穫量（平成31年3月31日現在：単位Kg）

| 4月    | 5月    | 11月 | 12月  | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|-------|-------|-----|------|-------|-------|-------|--------|
| 805.7 | 499.6 | 0   | 53.4 | 524.5 | 669.9 | 536.5 | 3089.6 |

○トマトハウス割れ、傷

| 4月 | 5月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|-----|-----|----|----|----|----|
|    |    |     |     |    |    |    |    |



|       |       |   |     |       |       |       |        |
|-------|-------|---|-----|-------|-------|-------|--------|
| 379.9 | 256.5 | 0 | 1.8 | 126.5 | 159.6 | 108.5 | 1032.8 |
|-------|-------|---|-----|-------|-------|-------|--------|

○どんこハウス総収穫量（平成31年3月31日現在：単位K g）

| 4月    | 5月     | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    |
|-------|--------|----|----|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 460.9 | 19.5   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 150.0 | 420.7 | 531.2 | 293.2 |
| 3月    | 合計     |    |    |    |    |     |       |       |       |       |
| 568.6 | 2444.1 |    |    |    |    |     |       |       |       |       |

○どんこハウス割れ、傷

| 4月    | 5月    | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月  | 12月   | 1月    | 2月   |
|-------|-------|----|----|----|----|-----|------|-------|-------|------|
| 50.6  | 26    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 74.2 | 159.8 | 161.8 | 56.6 |
| 3月    | 合計    |    |    |    |    |     |      |       |       |      |
| 117.5 | 646.5 |    |    |    |    |     |      |       |       |      |

○30年度収穫量（3月31日現在）

トマトハウス：3089.6 k g（内売り物：1240.0 k g）

どんこハウス：2444.1 k g（内売り物：1797.6 k g）

ネネ合計：2031.6 k g（内売り物1575.1 k g）

フラガール：462.5 k g

ももたろう：1610.4 k g

ルネッサンス：1247.8 k g

トマトベリー7.5：k g

ドルチェ：173.9 k g

五種類合計：5533.7 k g

過去の同時期の収穫量（参考資料）

24年度収穫量 2252.2kg（平成24年8月～平成25年3月）

25年度収穫量 3946.8kg（平成25年8月～平成26年3月）

26年度収穫量 3655.2kg（平成26年8月～平成27年3月）

27年度収穫量 5382.35kg（平成27年8月～平成28年3月）

28年度収穫量 4863.3kg（平成28年8月～平成29年3月）

29年度収穫量 5242.6kg（平成28年8月～平成29年3月）

○まとめ

・設備

トマトハウスは5月に全面ビニール張り替えを行った。

トマトハウスの誘引クリップを洗濯バサミ式の物に変更。以前使用していたクリップより使いやすいことと、直ぐに取り外しができることから作業が効率良くできた。また、利用者さんからも好評だった。来年度はどんこハウスにも導入予定。

・栽培（育成）

トマト栽培について、夏場の栽培は夏季に適した品種が見つからなかったことと、ブルーベリーの収穫と重なることから今年には行わず、冬場の栽培のみ行った。

トマトハウスについては、大玉トマトのももたろうファイト9列とドルチェ2列の二種類を9/3に定植し、その内の5列を海水の含んだ液肥で栽培をした。(1.2.3列はももたろう4.5列はドルチェ) また、どんこハウスはネネを12列、フラガールを6列の二種類を9/10に定植した。

苗の環境では、昨年と同じ様に予防的な殺菌剤と回数制限のない比較的安全な殺菌殺虫剤を小まめに散布した。

#### ・作業状況

以前は廃棄していたミニトマトの割れを、今年度からNPO法人「まあるい心」が購入してくれることとなり販売した。そのことで、割れの収穫を利用者さんを行う際、カビが付いている物を仕分ける工程を新たに行ってもらった。

作業に対しては意欲的に参加されている様子が多くみられた。今年度は、皆でトマトの袋詰めに参加する様にしたため、計量する担当がトマトをパックで計り、袋詰めをする担当は計量したトマトを詰めるなど作業工程を工夫して行えた。少し手間はかかるがほぼ全員が参加できており、充実した作業環境になりつつあると思われる。

また、新しい工程を覚えたい利用者さんがいたため、撤果や肥料の計量など練習してもらった。

暑い時期は、休息と水分補強を適時行うことで、熱中症等体調を崩す利用者さんはいなかった。来年度も利用者さんの体調管理を行い、充実した作業になる様に努める。

#### 2) 木工作业

担当：猪原

男性利用者5名、女性利用者2名(職員1~2名)が中心となって木工作业を展開した。

##### [作業経過]

##### (木工作业状況)

今年度は、職員数の減少に伴い、木工作业がほぼ1名体制であったこともあり利用者個別対応については難しい状況であった。また昨年度に比べ木工製品の在庫が少なく、鑿かけ作業における中心的メンバーがトマト作業に変わったこともあり、注文に対して昨年度ほど素早い対応が出来ないこともあったが、なるべく早く対応出来るよう努めた。

今年度も(公財)高知県立埋蔵文化財センターからの火切り板の注文があり対応した。また、新しくグローイングから注文をいただくようになり、アロマウッドやスマイルプレートなどを製造納品した。

午後の作業前に昨年度から取り入れている木工作业メンバーの体力・機能維持を目的とした運動も皆さん参加できた。

##### (危機管理について)

年度初めに、木工機械・工具・電源管理のマニュアルを再整備し取り組み、大きな事故や怪我もなくとり組めた。

##### (展開)

来年度は、木工作業を縮小し、本館わくわくグループと合同で余暇敵活動をメインに活動をする予定。余暇的活動では創作活動、運動、カラオケ、DVDなどを中心に利用者さんが楽しめる内容と共に身体機能の維持を中心に取り組んでいく。縮小後の木工作業では、(公財)高知県立埋蔵文化財センター、グローイングの注文には対応し、その他は良心市に出すマグネットなどの小物に限定して製作を行う予定。

### 3) 食品加工

担当：井上

女性利用者1名(職員3)が中心となって食品加工作業を展開した。

[作業経過]

(状況)

退所やグループ変更の関係で、担当利用者が昨年度より2名減り1名で取り組んだ。その為、準備・製造・片づけに至る一連の流れに関する負担が増えた為、ストレスにならないよう配慮を行った。

加工品の製造は、ブルーベリージャム21回、生イチゴジャム2回、イチゴジャム14回、シロップ漬け4回、ドライトマト3回であった。

ジャム作りは月に2回を基本としたが、各店舗の在庫状況に合わせ不定期でおこなった。

ドライトマト作業に関わった利用者の方は、昨年度同様、常時6名程度の方が作業に取り組んだ。加工作業を行うにあたり、白衣、帽子、マスク、手袋着用を促し、手洗いと消毒の徹底も含め衛生面に注意を払うと共に、包丁を使用するため、安全面への配慮も徹底した。

| 品名        | 製造個数  | 前年比     |
|-----------|-------|---------|
| ブルーベリージャム | 655瓶  | -74瓶    |
| イチゴジャム    | 487瓶  | -94瓶    |
| 生イチゴジャム   | 84瓶   |         |
| シロップ漬け    | 32瓶   | -24瓶    |
| ドライトマト    | 4.8kg | +1.67kg |

(衛生管理)

ジャムの製造において、昨年度同様に担当者の検便による大腸菌検査は、職員は年に3回(1.5.9)、利用者は年2回(1.7)に実施した。他に冷蔵庫の室内清掃を定期的(5.11)に行うことや、ゴキブリ駆除剤の設置は年に2回を目処に交換し、また定期的に業者へ入ってもらい点検を行った。

昨年度より毎朝3分間水を流し排水溝の衛生管理を継続したことで、臭いの改善もできたため、パイプクリーナーを使用した清掃に関しては、以前の年に4回(3.6.9.12)に戻していく。

(展開)

今後も定められた規制を守り怪我や火災等が出ないように安全対策を強化し食品加工作業に取り組んでいく。また、来年度は冷凍庫に入っている各種の作物と瓶や蓋、シーラーに関する在庫管理をしっかりと行い、データ管理ができるようにしていく。

#### 4) ブルーベリー栽培

利用者職員とも他作業との兼務で栽培を展開した。

通常の栽培にはあまり手のかからない作物である為、必要時に1～2名の参加で栽培管理を行った。

[作業経過]

平成30年度ブルーベリー収穫記録 (Kg)

|    | ティフブルー | ハビリス | ハルトウイン | デライト | 鉢・小木 | 総収量   |
|----|--------|------|--------|------|------|-------|
| 6月 | 4.6    | 1.2  | 1.6    | 0.4  | 3.6  | 11.4  |
| 7月 | 115.8  | 68.2 | 78.3   | 8.2  | 48.8 | 319.3 |
| 8月 | 33.3   | 26.5 | 145.3  | 2.0  | 23.6 | 230.7 |
| 合計 | 153.7  | 95.9 | 225.2  | 10.6 | 76.0 | 561.0 |

[夏場対策]

今年度は防草シートの色を白色に変更し地熱の上昇に対応した。ハウス内の温度は40度越えがほとんどであった。利用者、職員共に平均年齢も上がってきており、作業環境としては過酷なものになってきている。そのため熱中症対策としては、一日通しての屋外作業は設定せず、休憩時間を長く持ち、帽子の着用、水分補給と冷却タオルでのアイシングにて体温調節を行うようにした。

また作業利用者全員の参加ではなく、高齢者の方は午前には本館待機を行い、午後から作業参加とした。

[作業状況]

一日の流れとしては午前に収穫を行い、午後はパック詰めと冷凍用の袋詰めを行った。

利用者さんの作業状況は、収穫の判断が難しい最初の時期については、餞別収穫のできる利用者さん数名が参加し、その他の方は落ちた実を拾ったり、草引きや掃除を担当した。後半時期になると、冷凍用にしかない実も多くなるため全員が収穫に参加しています。今後の課題としては、餞別収穫のできる利用者さんの技術向上（スピードアップ）に向けて、個別指導を実施していく必要を感じた。

果実のパック詰めに関しては、出荷できる実を判断できる利用者に入ってもらい、その他の利用者は潰れている実の選別に取り組んでもらった。そうする事でなるべく多くの利用者さんがブルーベリー作業に関われるよう対応した。

#### 5) 販売活動

##### 【各販売店舗状況】

サニーマート

| 【六泉寺店：JA春野支所】 |      |        | 【瀬戸店：JA春野支所】 |        | 【土佐道路東店：細井商事】 |       |
|---------------|------|--------|--------------|--------|---------------|-------|
| 品名            | 販売数  | 前年比    | 販売数          | 前年比    | 販売数           | 前年比   |
| 生ブルーベリー       | 885p | 157.8% | 355          | 120.8% | 243           |       |
| ネネ            | 300袋 | 27%    | 141          | 29.9%  | 23            | 16.6% |
| ももたろう         | 531袋 |        | 504          |        | 207           |       |

|         |      |        |     |        |    |         |
|---------|------|--------|-----|--------|----|---------|
| 海たろう    | 30袋  |        | 5   |        |    |         |
| フラガール   | 173袋 | 95.1%  | 119 | 99.2%  |    |         |
| ドルチェ    | 127袋 |        | 58  |        |    |         |
| BVジャム   | 147瓶 | 78.2%  | 72  | 87.8%  | 34 | 680.0%  |
| イチゴジャム  | 108瓶 | 135.0% | 84  | 147.4% | 29 | 1450.0% |
| 生イチゴジャム | 26瓶  | 104.0% | 14  | 73.7%  | 5  |         |
| ドライトマト  | 39袋  | 390.0% | 21  | 420.0% |    |         |
| シロップ漬け  | 9瓶   | 180.0% | 8   | 160.0% |    |         |
| トマトジャム  | 1瓶   |        |     |        |    |         |

| 【高岡店：細井商事】 |     |        | 【アクス南国店：細井商事】 |     | 【中万々店：細井商事】 |       |
|------------|-----|--------|---------------|-----|-------------|-------|
| 品名         | 販売数 | 前年比    | 販売数           | 前年比 | 販売数         | 前年比   |
| BVジャム      | 86瓶 | 304.5% | 14            |     | 13          | 32.5% |
| イチゴジャム     | 71瓶 | 147.9% | 23            |     | 6           | 35.3% |
| 生イチゴジャム    | 20瓶 | 133.3% |               |     | 4           | 20.0% |
| ドライトマト     | 4袋  |        | 13            |     |             |       |
| シロップ漬け     | 5袋  |        |               |     |             |       |

| 【あぞうの店：細井商事】 |     |        | 【販売総数】（サンシャイン含む） |        |
|--------------|-----|--------|------------------|--------|
| 品名           | 販売数 | 前年比    | 総販売数             | 前年比    |
| 生ブルーベリー      |     |        | 1,579            | 156.5% |
| ネネ           |     |        | 467              | 27.0%  |
| ももたろう        |     |        | 1,373            |        |
| 海たろう         |     |        | 35               |        |
| フラガール        |     |        | 292              | 96.7%  |
| ドルチェ         |     |        | 185              |        |
| BVジャム        | 22瓶 | 52.42% | 388              | 99.5%  |
| イチゴジャム       | 31瓶 | 106.9% | 352              | 151.1% |
| 生イチゴジャム      | 5瓶  | 25.0%  | 74               | 74.7%  |
| ドライトマト       |     |        | 77               | 513.3% |
| シロップ漬け       | 1瓶  |        | 23               | 230.0% |
| トマトジャム       |     |        | 1                |        |

トマトやブルーベリーの生売りに関しての販売は好調であった。ももたろうに関しては、販売当初の売れ行きが悪く返品が多数あったため、一時期値段を下げて（200円→150円）販売した。その後売れ行きが回復した為通常の値段（200円）に戻し販売した。販売率は六泉寺店8割弱、瀬戸店や東店は9割以上であった。

昨年との大きな違いはネネの出荷数が激減したことで、理由としては作付け本数を減らした事と、外部注文（良心市含む）が増加したことがあげられる。しかし、出荷数が減っ

たにも関わらず売れ残り数は昨年と大きな差は無い状況であった。

加工品に関しても好調に売れており、特に六泉寺店はサニーマート系列の中で一番の売上げであった。また、東店とアクシス南国店への納品を再開したこともあり、販売数が上がったと思われる。

#### サンシャインヴィアン

##### 【太陽市】

| 【サンシャインビアン店：太陽市】 |      |       |
|------------------|------|-------|
| 品名               | 販売数  | 前年比   |
| 生ブルーベリー          | 96 p | 62.3% |
| モモ太郎             | 131袋 |       |

サンシャインへの出荷は、継続してヴィアン店のみにトマトとブルーベリーの出荷を行った。ブルーベリーの売り上げは、昨年度と比較して、出荷数が減っている分、売り上げ数も減っているが、販売率にはほぼ差はなかった。

トマトに関しては、ももたろうのみ出荷した。

生売りに関しては、サニーマート系列と比べ売れ行きに大差はない状況と考えられるため、来年度も継続して出荷していくが、もう少し出荷量を多くして対応したい。

#### サンプラザ

毎年サンプラザ天王店へネネを出荷しているが、今年度は収穫量の関係で出荷できなかった。

#### 良心市

昨年度以上に固定客からの注文が多く入り売り上げを伸ばした。また継続して‘わけありトマト、も好調に売れており、それを目当てに来られるお客さんも多く居られた。休日の販売に関しても、昨年度に比べお客さんが増えており、売り上げの向上に繋がった。小鳩作業所の良心市に関しては、第二あじさい園の良心市での注文が多量にある為、こぼと作業所にまで回せない事状況であった。

#### NPO法人まあるい心

「菓子工房レネー」にミニトマトの割れやキズのみを販売（1kg：120円）する事となった。割れが多い時期には毎週水曜日と金曜日取引があった。現在は毎週水曜日のみとなっている。

#### セレクトショップてんこす

セレクトショップてんこすとは、引き続き定期的な取引が続いており、ドライトマト、ブルーベリージャム、イチゴジャムや木工商品を中心に取引した。現状では、加工品よりも木工製品が売れている状況である。全体的に大量に売れるということはないものの、県内外のお客さんが利用される店舗ということで、販売としても宣伝としてもよい販路である。しかし来年度より木工作業の縮小により、木工製品の納品を終了するため、今後は加工品のみの取引となる。

あじさい園ホームページ：ヤマトフィナンシャル

ホームページでの販売（ヤマトフィナンシャル：クレジット・代引き）に関しては、今年度一度も無い状況。今後も注文が入るとは考えにくいため終了することとなる。

埋蔵文化財センター

（公財）高知県立埋蔵文化財センターからは、年に1回のペースで火きり板や火おこし器の注文が入っている。今後も年度末の時期に発注をしていきたいとの声も聞かれているため、取引を継続していく。一度に大量の注文と納期もあるがその分収益もあるため、迅速に対応していく。

障害者作品展

今年度、障害者作品展に参加し販売を行った。主となる商品はトマトではあるが、加工品や木工製品も販売した。毎年2日間共に参加していたが、トマトの販売を2日間に分けることで、その分1日の販売量が少なくなり直ぐに売切れてしまった。お客さんからもトマトの売り切れを残念に思われる方もいることや、その後に残った商品はあまり売れないこともある為、来年度より1日のみの参加とする。そうする事で、トマトの品質管理（収穫後数日経つため）もしやすくなり、一日通して活発的に販売できる事が予想される。

ナイスハートバザール

今年度は長野県での開催時に出品した。木工商品と加工品の販売であるが、出品数の約半分程販売できた。

来年度は木工品の製造がないため出品しないこととする。

#### 【展開】

来年度も各担当者と協力し販促活動に取り組んでいくが、木工商品に関しては、良心市に出す程度とし、外部販売は終了する。加工品の販売に関しては、売れ行きが良くない店舗もあるものの、定期的に出荷するよう調整を行っていく。

食品関係の法律が改正されることもあり必要な情報の収集、商品仕様書や配合仕様書の提出などをしっかりと行い、販売が滞らないように気をつけていく。

食品関係の法律が改正されることもあり必要な情報の収集、商品仕様書や配合仕様書の提出などをしっかりと行い、販売が滞らないようにしていきます。

#### Ⅱ 作業収入（収支計算書等を参照）

| トマト/BB      | 木工        | 食品加工      | その他 | 総計          |
|-------------|-----------|-----------|-----|-------------|
| 3,204,058 円 | 604,890 円 | 152,188 円 |     | 3,961,136 円 |

#### Ⅲ 作業工賃（作業に従事する者）

1) 時給計算での支給を基本とした。新しく作業に参加した方に対しては一定期間固定給で支給した。基本的に工賃支払は銀行振り込みとした。

|        |            |
|--------|------------|
| 支給工賃総額 | 1,324,856円 |
|--------|------------|

#### IV 余暇活動・季節行事

木曜日の午後に余暇活動を設定し、利用者の気分転換を図った。

外出、買い物に関しては感染対策の為、制限を設ける事があった。

\*文化活動（刺繍、創作、習字、カメラを自由に選択）

\*スポーツ（フライングディスク、散歩等）

※高知県立障害者スポーツセンター主催の体力作り教室への参加を始めた。

\*買い物

\*外出

\*誕生祝い

活動種目は選択制とし、選択種目の中に作業活動も含めた。

1日外出が実施できるよう、救命救急等の支援技能の向上に努めた。

季節行事はあじさい園と合同で実施した。

作業終了後希望者を対象にフライングディスクの練習を行った。

##### 1) 季節行事

行事の内容によっては積極的に保護者や地域住民の方々の参加を促し、利用者と共に季節折々の行事を楽しんだ。

| 行 事          | 日時       | 備 考                    |
|--------------|----------|------------------------|
| 5月行事 端午の節句   | 5/ 2(水)  | 本館、第二合同                |
| 高知県障害者スポーツ大会 | 5/27(日)  | ボウリング/陸上競技             |
| 7月行事 七夕      | 7/ 6(金)  | 本館、第二合同                |
| 納涼祭          | 8/17(金)  | あじさい・第二・こぼと・小鳩会他 約200名 |
| 9月行事 月見      | 9/ 7(金)  | 本館、第二合同                |
| スポーツフェスティバル  | 10/19(金) | あじさい・第二・こぼと 約120名      |
| 第二あじさい園忘年会   | 12/14(金) | 忘年会クッキング～ボウリング         |
| クリスマス会       | 12/25(火) | あじさい・第二・こぼと・関係者他約120名  |
| 冬期休業         | 12/28(金) | ～H30.1/3(木)            |
| 新年会          | 1/11(金)  | 本館、第二合同                |
| 節分・もちつき      | 2/ 6(水)  | あじさい・第二・こぼと合同          |
| 3月行事 ひな祭り    | 3/ 6(木)  | 本館、第二合同                |

##### 2) 一日外出

5月11日（金）－高知市千松公園でバーベキュー

11月16日（金）－四万十町（友永さん所有の柿畑で収穫体験）

#### 14 広報

##### 1) あじさい新聞

あじさい園、第二あじさい園、こぼと作業所の行事や活動の様子など楽しい雰囲気が伝わるよう写真を取り入れて紹介し、利用者、保護者、職員が日々の出来事や情報を共有できるように、毎月のあじさい会で配布した。

##### 2) ホームページ

当法人についての概要、施設紹介、活動内容等を掲載し、職員の個性を活か



したブログで、利用者の日々の様子や園内の情報などを公開した。また、毎日の食事メニューを写真付きで掲載し保護者からも好評を得た。

15 送迎

細木病院コース、高知駅前コース、天王ニュータウンコースの3コースを運行した。

16 苦情解決

本年度苦情受付件数 0件

17 管理責任

入園時間から退園時間までを当園の利用者に対する管理責任の時間帯とした。

いったん退園後、再来園する利用者に対しては保護者の了解を得て来る事と、17:00には退園する事を取り決めた。

## 平成30年度 生活介護事業所こぼと作業所事業報告

### 1 事業概要

生活介護事業を実施し、法人サービス理念、基本的運営理念、運営方針を基盤とした事業計画及び、利用者個々の特性やニーズに応じた個別支援計画を作成し、計画的且つ一貫した支援ができるように努めた。

営業日は原則月曜日から金曜日。営業時間は9:30～16:00(送迎時間を除く)として運営した。

### 2 法人サービス理念

- 1) 「できるだけ普通に、可能な限り特別に」をサービスの基本とします。

施設を地域の一単位と考え、一般社会と比較されるような特別な生活環境ではない、いわゆる「普通」感覚をもちながら、個別のニーズには可能な限り「特別」で手厚いサービス提供をすることを目指した。

- 2) 利用者に心地よい介助技術の習得に努め、心は常にアマチュアであろうとします。

職員は介護等の自主研修等をとおして介助、支援技術の習得に努めた。又、専門性を高めることによって、アマチュアであった時のような本来の福祉の精神が失われることのないよう職員教育を行った。

### 3 基本的運営理念

- 1) 家庭の代替機能、補完機能を第一義としない。

保護者と施設がそれぞれの役割を果たせるような関係づくりをし、利用者が家庭から遊離しないような取り組みを継続して行なった。

- 2) 幅広い福祉システム作りの核としての機能と目的を持つ。

法人の実施するサービスの有効活用を目指し、短期入所、相談支援事業と連携し、施設利用者支援に努めた。

- 3) 話し合える関係を保持する保護者たちが、施設と両輪となり「親の視点」で運営する。

利用者が何を望んでいるのかを把握するために、「親の視点」をとおして保護者と施設が連携を保ちながらの利用者サービスに努めた。

### 4 運営方針

- 1) ノーマライゼーションの原則

障害を疾病や発達障害としてではなく、個々の特徴として位置づけ、日常生活のうえで必要となる面は職員が支援を行なった。また、可能な限り個々の障害の質や程度で区分する事も行なわず全体の中で生活ができるように努めた。

- 2) 個別支援の原則

必要以外の集団サービスは行なわず、個々の特徴やニーズに応じた個別計画を作成し支援にあたった。

- 3) 家族・地域・施設連帯の原則

第3日曜日（8月は除く）に保護者会をもち保護者と施設の連携を深めた。また、納涼祭・クリスマス会・生産物の販売などを通じての地域交流を図った。

4) 利用者と職員は、指導「する・される」の関係から、作業環境を含んだより良い生活の受益と提供の原則

利用者はより良い環境を受益する権利があり、職員はより良い環境を提供する義務を持つという認識に立って活動をする事ができた。

5 平成30年度重点課題

1) 豊かな生活の創造

- ・利用者の個々のニーズが多様化してきた中、ティッシュ作業以外の活動内容を検討し、創作活動、運動支援、余暇活動等を計画し提供に努めた。月に一回外部講師の協力を得て、生花やドライフラワーを使ったフラワーアレンジメントを新たに取組んだ。

2) 職員（人材）の安定的確保

- ・ホームページ等 SNS を活用し、法人の情報発信を行った。

3) 職員の資質向上

- ・法人内研修にて、ユマニチュードの技法を支援技術の基本とするよう、集中して研修を実施した。
- ・勤務上の調整がつく限り外部研修に積極的に参加した。
- ・毎月救急救命、心肺蘇生法、応急処置の習得と災害時の対応訓練を行った。

4) 南海大地震対策の強化

- ・震災時の支援体制の確立と支援技能の向上を目指した防災訓練を実施すると共に、全体研修以外にも、毎月の職員会にて準備品・避難場所・訓練等の状況を確認し合った。また、MCA無線を設置し、毎朝通信訓練を実施した。

5) 法人内事業所の連携強化

- ・行事や販売活動を通して、法人内事業所との連携強化を図った。

6) 地域との連携

- ・良心市を設置し、販売を通して地域の方との交流を図った。

6 平成30年度職員研修

|    |                                    |     |                              |
|----|------------------------------------|-----|------------------------------|
| 4月 | 防災対策の基礎知識                          | 10月 | ユマニチュードの技法②<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 5月 | 人を大切にすること・虐待研修                     | 11月 |                              |
| 6月 | 人を大切にすること・ユマニチュードの哲学～私たちの仕事、その専門性～ | 12月 | ユマニチュードの技法③<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 7月 | 人を大切にすること・ユマニチュードに取り組んで            | 1月  | ユマニチュードの技法④<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
| 8月 |                                    | 2月  | ユマニチュードの技法⑤<br>～優しさを伝えるケア技術～ |

|    |                              |    |                              |
|----|------------------------------|----|------------------------------|
| 9月 | ユマニチュードの技法①<br>～優しさを伝えるケア技術～ | 3月 | ユマニチュードの技法⑥<br>～優しさを伝えるケア技術～ |
|----|------------------------------|----|------------------------------|

9月・11月に幹部職員がユマニチュード入門研修に2日間参加し、ユマニチュードの哲学、技法について学び、法人職員としての支援技術の向上、基盤となるよう、園内研修を行った。

※外部研修は平成30年度外部研修参会一覧参照

## 7 具体的運営

### 1) 生活支援

利用者個々の生活様式に応じた生活援助を目的とし、どうすれば最も快適な生活ができるかを常に模索し、利用者の自己実現を図れるよう支援した。

#### (1) 給食

| 食事内容   |        | 給食費用  |          |              |
|--------|--------|-------|----------|--------------|
| 平均カロリー | 697Cal | 実延人数  | 1,580人   |              |
| 平均食数   | 5品     | 食材費   | 316,000円 | (200円/1食あたり) |
| 食事時間   | 日課参照   | 業務委託費 | 688,200円 |              |

#### 衛生管理費

| 検査・点検       | 結果   | 費用      |
|-------------|------|---------|
| 検便          | 異常なし |         |
| 浄化槽掃除       | 異常なし | 82,440円 |
| 厨房内害虫予防(大進) | 異常なし | 51,820円 |

#### 器具什器費

|    |         |
|----|---------|
| 食器 | 15,581円 |
|----|---------|

### 2) 健康管理

利用者の健康状況の把握と疾病の早期発見に努め、感染予防については過去の教訓を生かしながら対策に取り組んだ。

|             |       |             |
|-------------|-------|-------------|
| 定期健康チェック    | 月2回   | こばと作業所上田看護師 |
| 歯科検診        | 6/11  | 広田歯科        |
| 内科検診        | 7/19  | 横浜ニュータウン内科  |
| 健康診断        | 10/11 | きんろう病院      |
| インフルエンザ予防接種 | 11/8  | 横浜ニュータウン内科  |

### 3) 環境整備

施設内の美化と利用者身辺の整理整頓に努めた。

### 4) 防災計画

|                             |
|-----------------------------|
| 自主消防訓練：11/1→通報訓練、通報装置使用手順確認 |
|-----------------------------|

|   |
|---|
| 南海地震対策訓練：5/16, 8/13, 12/4, 2/4→通報訓練, 避難所へ移動, 長期避難生活想定訓練 |
| 風水害訓練：7/10→避難訓練、保護者との通信訓練                               |
| 南海地震対策委員会：毎月幹部会にて報告                                     |

8 日課

| 時 間       | 活 動 内 容       |
|-----------|---------------|
| 8 : 3 0   | 始 業           |
| 8 : 4 0   | 送迎車出発         |
| 9 : 3 0   | 体操、ミーティング     |
| 1 0 : 0 0 | 午前 日中活動（適宜休憩） |
| 1 2 : 0 0 | 昼食・口腔ケア       |
| 1 3 : 0 0 | 休憩            |
| 1 3 : 3 0 | 午後 日中活動（適宜休憩） |
| 1 5 : 0 0 | 活動終了・掃除       |
| 1 5 : 3 0 | 体操、ミーティング     |
| 1 6 : 0 0 | 送迎車出発         |
| 1 7 : 3 0 | 終業            |

9 職員構成

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

| 職名 | 管理者 | 施設長 | サービス管理責任者 | 事務員（兼務） | 管理栄養士（兼務） | 直接処遇職員 |       |         |       | 合計 | 調理部門 |
|----|-----|-----|-----------|---------|-----------|--------|-------|---------|-------|----|------|
|    |     |     |           |         |           | 係長     | 生活支援員 | 看護師（兼務） | 支援員合計 |    |      |
| 人数 |     |     |           |         |           |        |       |         |       |    |      |
| 男  | 1   | 1   |           |         |           | 1      | 1     |         | 2     | 4  | 業務委託 |
| 女  |     |     | 1         | 1       | 1         |        | 1     | 1       | 2     | 5  |      |
| 計  | 1   | 1   | 1         | 1       | 1         | 1      | 2     | 1       | 4     | 9  |      |

②職員名及び担当

| 職 種           | 氏 名       |
|---------------|-----------|
| 管 理 者         | 南 守       |
| サービス管理責任者（課長） | 入交 沙織     |
| 医 師           |           |
| 事 務 員         | 井田 陽子（兼務） |
| 管 理 栄 養 士     | 森岡 美樹（兼務） |

|     |     |            |            |       |
|-----|-----|------------|------------|-------|
| 支援員 | 看護師 |            | 上田 友紀 (兼務) |       |
|     | 男性  | (係長) 中山 貴之 |            | 小松 憲夫 |
|     | 女性  | 玉川 美穂      |            |       |

#### 10 運営資金

運営資金は、給付費でまかなった。

(収支計算書等を参照)

#### 11 施設利用状況の推移(定員 20 名:基準開所日数 269 日, 利用人数 5, 380 名)

| 項目   | 延数   | %  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
|------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 契約者数 | 85   | 35 | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 8   |
| 利用者数 | 1587 | 29 | 116 | 130 | 124 | 135 | 159 | 120 | 151 | 142 | 124 | 122 | 126 | 138 |
| 開所日数 | 243  | 90 | 20  | 21  | 22  | 20  | 22  | 20  | 20  | 20  | 19  | 19  | 19  | 21  |

平均年齢：男性-32 歳 (2 名) 女性-33.5 歳 (6 名)

総計平均年齢：33.1 歳 (8 名) (3 月 31 日現在)

平均支援区分：5.2 基準人員配置人数：2.2 人

#### 12 会議

職員会・ケース会・個別支援会議・サービス担当者会議・作業内容検討会を随時実施した。また森グリーンフーズとも食事提供の確認等話し合いをもった。

#### 13 活動・行事について

社会自立に目標をおく作業とともに、個々人に適した自立や生き甲斐に主眼を置いた活動も提供した。行事、余暇活動については、障害者スポーツ大会、中部地区施設交流会、体力作り教室への参加など積極的におこなった。

### I 活動別

#### 1) ティッシュ作業

担当：小松

ティッシュの袋詰め、袋止め、箱詰め作業を実施。他の活動とグループ分けし、利用者が好きな活動に参加できるようにしているため、作業量と作業時間は減っているが、一定の作業量は確保し利用者の特性に合わせてゆっくりと進めてきた。

|    |     |       |     |     |         |
|----|-----|-------|-----|-----|---------|
| 4月 | 4種類 | 3546個 | 10月 | 2種類 | 3048個   |
| 5月 | 4種類 | 3097個 | 11月 | 3種類 | 2370個   |
| 6月 | 3種類 | 3578個 | 12月 | 2種類 | 1650個   |
| 7月 | 4種類 | 2478個 | 1月  | 2種類 | 2620個   |
| 8月 | 3種類 | 3146個 | 2月  | 2種類 | 1897個   |
| 9月 | 1種類 | 2592個 | 3月  | 3種類 | 1868個   |
| 合計 |     |       |     |     | 31,890個 |

(来年度)

ティッシュ作業は縮小しつつも、作業をしたいとの希望もあるので、一定の作業量を確保しつつ、様々な利用者の要望に添えるよう展開を考えていきたい。

## 2) 運動支援

担当：玉川

散歩、体力作り教室、プールを主な取り組み活動とした。散歩は、上半期は長、中、短距離組みに分かれそれぞれのペースで参加する。下半期になると、利用者3名の歩くペースが落ちてきた。また、突発的な行動をとる利用者さんには職員がマンツーマンで対応することとした。

夏場の散歩は熱中症予防のため30分程の短距離散歩のみ実施し、その他の時間は室内でリズム体操を行った。リズムに合わせて身体を動かす利用者さんもいれば、見学のみで終わってしまう利用者さんもあり、今後検討していかなければならない。

体力作り教室（毎月2回実施）では、エアロビやストレッチ、フライングディスクなど仲間と楽しみながら身体を動かす時間となっている。また他施設との交流も楽しまれていた。

プール（7月～8月）は、利用者さん全員が楽しまれていた。事故や怪我がないよう職員間で連携を図った。プールに入らない利用者さんには、職員1名が付き添ってあじさい園の活動に参加するようにした。

（来年度）

散歩を主に運動する時間は確保しつつ、単調にならないよう体力作り教室、プール、その他体育館でのスポーツなどを組み合わせながら、楽しく身体を動かせる時間を設けていこうと考えている。

## 3) 創作

担当：玉川

主に折り紙を使った季節ごとの壁面作りやスピリットアート出展に向けての作品作りを行った。

壁面作りは、折り紙を折るのに苦戦する様子がみられ、職員と一緒に取り組むことで達成感を感じ、次第に自分で折れることが出来る利用者さんがいた。数名の利用者さんは折り紙の活動への拒否が見られ、絵描き、文字練習、パズルなど他の活動を提供した。

スピリットアートへの作品作りでは端材を使用して、利用者さんそれぞれが好きな色を絵具で塗り、塗った端材を自由に組み立て作品に仕上げた。色塗りは利用者さん全員が好きな工程のようで、とても楽しそうな様子で色塗りをおこなっていた。スピリットアート展で、こぼと作業所の作品「街の風景」は見事入選した。

（来年度）

各自が季節ごとの作品を作りながら、全体の取り組みとしてスピリットアート作品展や、その他作品展への出展を目指し、個性豊かな作品作りができるよう、また作った作品をご家族にも喜んでもらえるよう取り組んでいきたい。

## 4) 園芸

担当：中山

・国道脇の花壇

5月GW明けにパンジーを撤去し、堆肥を入れ花植えの準備を行う。

5月末～6月ポチュラカの苗を花壇に植え、6月～10月に開花。

10月にポチュラカを撤去し、堆肥を入れ花植えの準備を行う。

11月パンジーの苗を花壇に植え、11月～5月に開花。

・ 2 F 中庭～ 1 F 植え込み

いちょうの枝、ツタの刈り込みを行い整備した。

・ プランター

6 月朝顔を植え、階段西側にネットを張り朝顔のツルを這わせ花を咲かせることが出来た。

10 月プランターにプリメラなど数種類の花を植えた。

・ あじさい園の畑

6 月さつま芋、11 月にニンニク、3 月にじゃが芋を植えた。

皆でさつま芋の収穫を楽しみ、収穫したさつま芋使ってスイートポテトを作り、美味しく食べることが出来た。

1 2 月渋柿を沢山いただき、さらし柿と干し柿作りを体験した。

週に 1 回園芸活動をおこない、水やりや草引きなどを定期的におこなってきた。

(来年度)

花壇は夏から秋にはポーチュラカ、冬から春にはパンジーを植え、手入れをすることで地域との交流の場となるよう継続して取り組んでいく。作業所の玄関周りが少し寂しい印象なので、年間を通して花がある状態を保てるよう計画して取り組んでいきたい。

#### 5) 良心市

担当：小松

第二あじさい園からミニトマトやトマトを仕入れ、選別、袋詰め、販売をおこなった。

トマトは入荷が不定期なため知名度は低いが、近隣住民や利用者とその家族、知人等に声かけし完売している。木工製品は売れていない。

### II 作業収入（収支計算書等を参照）

| ティッシュ     | 良心市      | 総計        |
|-----------|----------|-----------|
| 124,369 円 | 16,670 円 | 141,039 円 |

### III 作業工賃（作業に従事する者）

1) 時給計算での支給を基本とした。新しく作業に参加した方に対しては一定期間固定給で支給した。基本的に工賃支払は銀行振り込みとした。

|        |          |
|--------|----------|
| 支給工賃総額 | 151,485円 |
|--------|----------|

### IV 余暇活動・季節行事

#### 1) 余暇活動

週一回程度のペースで余暇時間を設け、買い物、外出散歩、フラワーアレンジメント等を実施した。気候の良い時期には一日外出や半日外出も企画し、利用者のリフレッシュに努めた。



| 日時        | 外出先                     |
|-----------|-------------------------|
| 4/9 (月)   | 半日外出：いちご狩り (西島園芸団地)     |
| 5/11 (金)  | 一日外出：千松公園               |
| 6/15 (金)  | 半日外出：わんぱーくこうち           |
| 7/20 (金)  | 半日外出：わんぱーくこうち           |
| 8/10 (金)  | 半日外出：よさこい祭り見学           |
| 11/12 (月) | 一日外出：中部地区施設交流会 (春野運動公園) |
| 11/21 (水) | 半日外出：カラオケ               |
| 12/13 (木) | 半日外出：春野運動公園             |
| 3/22 (金)  | 半日外出：高知城                |

※9月10月の一日外出は大雨のため中止

## 2) 季節行事

季節行事はあじさい園、第二あじさい園、こぼと作業所の法人合同で実施した。行事の内容によっては積極的に保護者や地域住民の方々の参加を促し、利用者と共に季節折々の行事を楽しんだ。

| 行 事          | 日時                  | 備 考            |
|--------------|---------------------|----------------|
| 5月行事 端午の節句   | 5/2 (水)             | 法人合同           |
| 高知県障害者スポーツ大会 | 5/27 (日)            | ボウリング          |
| 7月行事 七夕      | 7/6 (金)             | 法人合同           |
| 納涼祭          | 8/17 (金)            | 法人・小鳩会他 約200名  |
| 9月行事 月見      | 9/7 (金)             | 法人合同           |
| スポーツフェスティバル  | 10/19 (金)           | 法人合同 約120名     |
| こぼと作業所忘年会    | 12/1 (土)            | レストランGENDAI    |
| クリスマス会       | 12/25 (火)           | 法人合同・関係者他約120名 |
| 冬期休業         | 12/28(金)～H31.1/3(木) |                |
| 新年会          | 1/11 (金)            | こぼと作業所         |
| 節分・もちつき      | 2/6 (水)             | 法人合同           |
| 3月行事 ひな祭り    | 3/6 (木)             | 法人合同           |

## 14 実習生

高知市立高知特別支援学校5～6月 (1名) 9月 (2名)

高知県立日高養護学校11月 (1名)

## 15 広報

### 1) あじさい新聞

あじさい園、第二あじさい園、こぼと作業所の行事や活動の様子など楽しい雰囲気や伝わるよう写真を取り入れて紹介し、利用者、保護者、職員が日々の出来事や情報を共有できるように、毎月なあじさい会で配布した。

### 2) ホームページ

当法人についての概要、施設紹介、活動内容等を掲載し、職員の個性を活か

したブログで、利用者の日々の様子や園内の情報などを公開した。また、毎日の食事メニューを写真付きで掲載し保護者からも好評を得た。

16 送迎

百石町コース（2台で運行）を運行した。

17 苦情解決

本年度苦情受付件数 0件

18 管理責任

入園時間から退園時間までを当園の利用者に対する管理責任の時間帯とした。